

休校中に「5S」に取り組もう

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症拡大による休校で、何をしたらよいかかわからずに困っている方もたくさんいらっしゃると思います。そこで今回は、そのような方に「こんなことをしたらよいのではないか」というものを提案させていただきます。

2. それは「5S」です。大人の方はご存知だと思いますが、5Sとは整理・清掃・整頓・清潔・躰のことです。それぞれをローマ字で書くとseiri・seisou・seiton・seiketsu・shitsukeで、5つともSで始まるため5Sと呼ばれています。

多くの職場、例えば病院でも役所でも工場でも商店でも「5Sを推進しましょう」という呼び掛けがされ、実際に行われています。これは職場だけでなく、小学生・中学生・高校生・大学生・大学院生・専門学校生・専修学校生にも必ず役に立ちます。身の回りのことから始めると素晴らしい生活が送れますので、具体的な内容を紹介させていただきます。

3. 1つ目の整理(seiri)とは、要らないものを取り除くことです。例えば、私はいつも持ち歩いているカバンの中から、週に何回か要らないものを取り除いています。そうしないと、あまり大きなカバンではないため、いろいろなものでいっぱいになってパンクしてしまうからです。

4. 2つ目の清掃(seisou)とは、整理し終わったら、そこをきれいにそうじすることです。私のカバンを例に挙げると、要らないものを取り除いたあとは、水で濡らした布で内側や外側を拭いています。また、筆入れの中・机の上・引き出しの中なども同じようにしています。

5. 3つ目の整頓(seiton)とは、要らないものを取り除いてきれいにそうじしたあとは、ものを同じところに置くことです。これがきちんとできるのは本当に素晴らしいことで、忘れ物がなくなり、ものを探す時間も少なくなります。ものを同じところに置きますので、「あれはあそこにあるな」となって、そこを探すとすぐに見つかるからです。

私は、先ほどお話したカバンのファスナーのついた小さな前ポケットの中には、いつも同じものを入れています。それは、東京に行って電車・地下鉄・バスなどに乗るときに利用するSuica(スイカ)です。また、自宅や開倫塾本部の鍵をはじめとする様々な鍵の束も入っています。これらはいつも同じポケットにありますので、入れ忘れたとき以外は探さずに済みます。

このように、1週間に何回かはカバンの中から要らないものを取り除き、きれいにそうじしたあとに必要なものを同じところに置くようにすると、探す手間が全くなくなって有難いです。ですから、皆さんにもおすすめします。

6. 4つ目の清潔(seiketsu)とは、整理・清掃・整頓を継続することです。つまり、きれいさを保つのです。

7. 5つ目の躰(shitsuke)とは、5 Sに特有な意味になりますが、自分で決めたこと・みんなで決めたことは自分から進んで行うことです。これは素晴らしい考えで、5 Sの中で一番おもしろいかもしれません。

足利市の足利商工会議所には「足利5 S学校」があり、5 Sに熱心に取り組んでいます。私もメンバーの一人ですので、実行している会社や工場などを視察する機会があります。そこでわかるのは、「5 Sをやきましょう」とキック・オフするのは社長さん・所長さん・工場長さんなどですが、そこで働いている方たちが自分から進んで実行していることです。誰かにいわれたからではなく、自分たちで考えてやるので、非常に楽しい5 Sが行われています。そのため、ここが工場かと思うくらい、素晴らしい職場になっています。

ですから、皆さんも5 Sに取り組む際には、自分から進んでやることを考えていただければと思います。

8. 今は学校が休みになっていますので、その間に皆さんにやっていただきたいことの1つとして「5 S」を紹介しました。第1は要らないものを取り除く整理(seiri)、第2は整理し終えたところをきれいにそうじする清掃(seisou)、第3はそうじしたあとにもものを同じところに置く整頓(seiton)、第4は整理(seiri)・清掃(seisou)・整頓(seiton)を継続する清潔(seiketsu)、第5は自分で決めたこと・みんなで決めたことは自分から進んで行う躰(shitsuke)です。

この5つを、少し時間のあるときに、自分の机の上・引き出しの中・タンスの中・本棚などの身近なところからやっていくと、素晴らしい勉強になります。めげずに頑張ってみましょう。